

第4回教育委員会定例会議 会議録

- 1 日 時 平成29年4月19日(水)
 開会 13時30分
 閉会 14時42分
- 2 会 場 金沢市庁舎 7階 第1委員会室

3 出席委員(6名)

教 育 長	野 口	弘	
教 育 委 員	田 邊	俊 治	
”	早 川	芳 子	
”	岡	能 久	
”	河 野	俊 寛	
”	大 島	淳 光	

4 欠席委員(1名)

教 育 委 員 丸 山 章 子

事務局	教育次長(兼)学校教育部長	山 田 啓 之
	担当部長(兼)教育総務課長	加 藤 弘 行
	教育総務課担当課長(兼)課長補佐	中 西 賢 治
	担当部長(兼)学校職員課長	川 口 勝
	学校職員課担当課長・管理主事(兼)課長補佐	吉 田 圭 史
	担当部長(兼)学校指導課長	新 村 裕 二
	学校指導課担当課長(兼)課長補佐	村 田 昌 人
	学校指導課主席指導主事	中 島 照 雄
	学校指導課生徒指導支援室長	石 田 浩 二
	市立工業高校長	小 酒 正 明
	市立工業高校副校長	酒 井 信 幸
	市立工業高校事務局長	堂 岸 豊
	生涯学習部長	鳥 倉 俊 雄
	生涯学習課長	藤 木 由 里
	(兼)家庭教育振興室長	
	市民交流施設整備室長	田 村 創
	(兼)生涯学習課課長補佐	
	中央公民館長	升 嘉 隆
	キゴ山ふれあい研修センター所長	直 江 義 弘
	図書館総務課長	村 田 英 彦
	(兼)玉川図書館長	
	(兼)近世史料館長	
	(兼)城北分館長	
	泉野図書館長	茶 谷 信 一
	(兼)平和町児童図書館長	
	泉野図書館副館長	徳 田 伸 治

玉川こども図書館長	明星敏浩
玉川こども図書館副館長	池田光穂
金沢海みらい図書館長	割田隆之
教育プラザ総括施設長	高村政博
(兼) 地域教育センター所長	
研修相談センター所長	熊谷有紀子
文化財保護課長	飯田一哉
スポーツ振興課長	毛利達彦

5 案 件

- 非 議案第 9 号 教育委員会所管の委員会等の委員の委嘱等について (教育総務課他)
- 非 議案第 10 号 平成 29 年度金沢市教員採用候補者選考試験の実施について (学校職員課)
- 非 議案第 11 号 金沢市文化財保護審議会への諮問について (文化財保護課)
- 非 議案第 12 号 金沢市スポーツ推進審議会委員の委嘱について (スポーツ振興課)
- そ の 他
- (1) 金沢市立小・中学校別児童生徒数、学級数及び教員数について
 - (2) 平成 29 年度全国学力・学習状況調査及び県基礎学力調査の実施状況について
 - (3) 金沢市立小・中学校図書館の状況について
 - (4) 次回の定例会議の日程について

6 議事の経過等 以下のとおり

野口教育長の開議あいさつに続いて、本年度の傍聴席数を 7 席と決定した。次に、傍聴希望者 5 名について協議し、傍聴を許可した。次に、議事録署名委員として早川委員を指名した。その後、各委員から今年度に向けてのあいさつがあり、事務局から自己紹介があった。本日の議題について野口教育長が議案第 9 号、議案第 10 号、議案第 11 号、議案第 12 号を非公開にするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。

審議に入り、その他(1)(2)(3)について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、5月の定例会議の開催日を次のとおり決定した。最後に議案第 9 号、議案第 10 号、議案第 11 号、議案第 12 号について非公開で審議に入り、原案どおり承認し、閉会した。

* 5月の定例会議の日程：平成 29 年 5 月 24 日(水) 13:30～

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

○ 各委員から今年度に向けての抱負、意見

(説明の概要) 今年度最初の会議となるので、各教育委員から今年度に向けての抱負や意見を伺いたい。

田邊委員

新しい年度になり、新たな気持ちでそれぞれの学校や社会教育関係においてもスタートしたと思います。何に取り組むかということで、本市だけでなく全国的に関わることで、少し思うところをお話したいと思います。

一つ目は、先だって新しい学習指導要領の告示がありました。これから

の子どもたちの質の高い学力形成を図るという大きな課題があるので、それを見据えながら取り組んでいくことが大事だと思います。

二つ目は、学ぶことに関していろいろな意味でのセーフティネットを考えていく必要があると思います。教育の問題だけではない部分もありますが、子どもを取り巻く社会環境や生活環境を底支えするセーフティネットに関して配慮し、取り組むことが必要ではないかと感じます。

三つ目は、教員の世代交代が急速に進んでおり、学校訪問をしても若い先生が急激に増えている実態があると思います。その点で、蓄積された熟練の先生方の教職技術や指導力が速やかに若い世代に継承されるために、各学校での取り組みと同時に、行政としてのいろいろなサポートも必要不可欠だと思います。先生方一人一人が研さんを積むことは大事ですが、同時に学校組織や市、教育委員会のバックアップも必要不可欠になるでしょうし、先生方が忙しいという現実を見据えながらも力をつけていくことは、教員の最重要の使命でもあるので、しっかり現状を把握しながら取り組んでいくことが課題だと思っています。本市だけではなく、どこも抱えている課題だと思いますが、本市の現状も踏まえながら、教育委員会としても共通意識を持って取り組んでいきたいと思っています。

早川委員

自分が教育委員として支援したいと思っていることが五つあります。それを簡単にお話して、多様化する社会における心配事、そして最後に希望を述べたいと思います。

1 番目はコミュニケーションです。日本語でのコミュニケーション力を子どもたちにつけるにはどうすればいいかという分野をずっと見てきました。国語の教科書にもCDが付いているか、先生方はそれをきちんと使っているかなど、総合訪問のときに伺っています。心配事は、先生方の日本語が乱暴なことです。乱暴な日本語と、親しみを込めていることとは違うと思っています。親しさを示すときに日本語が汚くなるべきではないと思っています。

2 番目は小学校、中学校で頑張って英語を学び、英語を使って自分の思いを相手に伝えることです。それは、ぺらぺら話せることとは全く違います。どんな言語であれ、自分の考えをまとめて発表できなければならないと思っています。何か事柄が起きて「私はこう思います」と表現できるように指導してほしいと思います。先生方にも、自分の英語力を伸ばそうとする努力を常に続けてほしいと思います。言葉は止めると能力が下がります。常に向上心を持って先生方には頑張してほしいと思います。

3 番目は、世界をいつも意識できるといいと思っています。自分と同じ年齢の子どもたちが世界でどんな暮らしをしているのか、何に困って何が幸せなのかということに、常にアンテナを張れる子どもになってほしいです。私もお手伝いしたいと思っています。

4 番目は、人間の毎日の暮らしの基本は「健康な暮らし」です。家族の協力が不可欠です。多様化する家族像の中で健康を自分たちで守らなければならないということを、子どもたちが把握できるように、何とかお手伝いしたいと思っています。

5 番目は、人間としてのグッドマナーズとバッドマナーズです。道徳の授業が始まったから安心というわけではありません。一人のすてきな日本人になってほしいです。いつでもお話に行きます。

心配事は、例えばLGBTのような説明の難しい現実や、帰国子女などダブルの文化を持つ子どもたちが学校でなかなか受け入れられず、いじめに遭っている現実です。21世紀なのにどうということなのだろうとがっかりします。いろんな人が存在することを子どもたちにどのように説明するのかを先生方で話し合っしてほしいと思います。

希望は、私もボランティアで、ある中学校に行って、遅れている子たちと一緒に夏休み帳を教えています。先生が足りません。もっとたくさん

の近所の人たちが来てくださるといいと思います。底上げをしているのは本当にいいと思いますが、さらに理解している上の子供たちをさらに上げてあげるチャンスもあったらいいと思います。また、今はビデオやインターネット、電子黒板などいろいろな機器があるので、その活用についても先生方で話し合い、利用してほしいと思います。

全国で悲しいニュースや危険なニュースがありますが、それが報道されるたびに、金沢ではどうだろうかと現状を見て常に対策を考えてほしいと思います。

岡委員

私は職業柄、文化や工芸について応援していきたいと思っています。金沢は他では見られない伝統文化や工芸が息づいているまちだと思います。また、新幹線が開通して以降、全国から一番注目されているまちではないかと思っています。このまちで育った子どもたちが歴史や文化を学び、自分たちのまちに誇りを持てるように今までも応援してきましたが、これからもそのように続けていきたいと思っています。

また、学校訪問などを行って思うのは、学校の主役は生徒と先生方、その周りで校務に携わっている方々、地域の皆さん方だということです。そういった方がみんな生きがいを感じて、教育現場に立てるように応援していきたいと思っています。

河野委員

私は今年、2点のことを意識しながら、教育委員としての仕事をしたいと思っています。

1点目は自分の専門である特別支援教育の観点から、質問や意見、要望を述べたいと思っています。いつも言っていることですが、特別支援教育は特別支援学級だけではなく、通常学級の先生方も特別支援教育を担当しているのです、全教育に関係していることだと思っています。

2点目に、一市民として素朴な質問や意見、疑問等を教育現場に出していきたいと思っています。

大島委員

私は昨年のこの会議から委員として参加させていただき、1年間本当に手探りの中、私の経歴からすると保護者の立場、育友会・PTAとして貢献できることは何かという視点で、いろいろな事業に参加しました。

今年度は大きく2点の目標で参加したいと思っています。1点目に、家庭教育に関する指針や金沢市家庭教育推進プログラムが懇話会を通じて策定されました。私も非常に興味深い部分で、具体的にこれから幾つか柱の事業があると思いますが、それが実際に現場で機能していくのかどうか、認知されていくのかどうかを育友会・PTAの仲間と連携しながら、間に入って意見等を抽出できればと思っています。

もう1点は、これまでも学校訪問に私なりに参加させていただきましたが、保護者の立場、地域の立場、そして会社経営という視点でいろいろな意見を出したいと思っています。

野口教育長

幾つかの視点でお話しします。まず先般、千葉県で小学3年生の女子児童が登校途中で殺害されるという大変痛ましい事件がありました。その経緯を追っていく中で、犯人が見つかり、驚いたことに保護者会長だったということで非常に胸を痛めています。子どもたちは、何を信頼したらいいのだろうかと考えているのではないかと感じます。ただ、私は、金沢で子どもたちの安心・安全を見守ってくださっている保護者の方や地域の見守りボランティアの方には、そういう方はいないと信じています。学校では、そうした保護者の方や見守りボランティアの方々と連携を図っていただき信頼関係を深めて、登下校時の児童生徒の安全確保について、一層の努力をしていただきたいと思います。われわれ教育委員会事務局もそのことをしっかり意識しながら動きを作っていきたいと思っています。

2点目は、4月3日に市役所で新しい教職員の服務宣誓式がありました。毎年70名を超える教職員が新規採用されますが、今年度は79名が金沢市に配置されました。いろいろな話をさせていただきましたが、その中で私は、「皆さんはとても良い仕事を選択されたと思う。自信を持ってこの仕事に取り組んでいってほしい。それは36年間、皆さんと同じ仕事の道を行ってきた私が感じていることである」と話しました。その先生方がそれぞれ退職の日を迎えたときに、「この道を選んでよかった」と実感できるような環境をわれわれがつくっていくことが大事ではないかと思えます。事務局の中でそういう環境づくりについて一生懸命頑張っていきたいと思っています。

事務局は今年、大変多くの仕事をしなければならないと感じています。田邊委員がおっしゃったように、一番大きな仕事になるのは次期学習指導要領に向けた対応準備だと思っています。これまでに金沢市は金沢型学校教育モデルを策定しましたが、主体的・対話的な深い学び（アクティブラーニング）の実現に向けた指導の在り方をしっかり確立しなければならないと思えますし、各学校においてはカリキュラムマネジメントが求められています。

個々に考えていけば、小学校英語の対応準備があります。金沢市は平成16年から英語科に取り組んでいますが、このアドバンテージを生かしながら、さらに子どもの学力を伸ばすことを真剣に考えていきたいと思えますし、併せてプログラム教育についても準備を進めていかなければならないと思っています。

3点目は、昨年度から中村町小学校をコミュニティ・スクールのモデル校として指定していますが、地域からも大変充実した取り組みであるという評価を頂いています。今年度はさらにモデル校を拡大するつもりですが、そのモデル校も含め、一緒に両輪となる地域学校協働本部活動についても取り組みを進め、地域の活性化や次世代の学校づくりに取り組んでいきたいと思っています。

あとは、先ほど大島委員もおっしゃいましたが、家庭教育についても昨年1年間をかけてプログラムを作りまし、家庭で子どもを育てための「8つのすすめ」も作りましので、周知や実践が大事だと思えます。こちらは生涯学習部が中心になりますが、両方一緒にやっていければいいと思っています。

先般、「折々のうた」を書かれていた大岡信さんが亡くなられました。大岡さんは金沢都市文化懇談会の元委員でした。常々、「伝統は創意の連なりである」という言葉を述べられ、山出保前市長はこの言葉をとても大事にされながら、まちづくりに取り組んでいたという話も伺っています。われわれもいつも創意工夫を加えることを意識しながら仕事をしていますが、そうした創意を一生懸命重ねながら、新しい教育の伝統をみんなで作っていければいいと思っています。事務局のメンバー全員で一生懸命頑張っていきますので、教育委員の皆さまにおかれましても、今後ともぜひお力添えを頂きたいと思っています。よろしくお願いいたします。

○ その他 (1) 金沢市立小・中学校別児童生徒数、学級数及び教員数について

(説明の概要) 議案書 11 ページ。本年度入学式当日、4月7日現在の児童生徒数、学級数および教員数について学校ごとに一覧で示した。小学校で最も多く児童が在籍しているのは大徳小学校で児童数が869名、学級数が29学級、教員数が38名となっている。最も少ないのは医王山小学校で児童数19名、学級数5学級、教員数6名となっている。小学校55校の総計は児童数が2万3,348名、学級数が907学級、教員数が1,238名となっている。中学校で最も多く生徒が在籍しているのは浅野川中学校で生徒数が877名、学級数が25学級、教員数が41名となっている。最も少ないのは芝原中学校で生徒数が18名、学級数が2学級、教員数が7名となっている。中学校

24校の総計は生徒数が1万1,451名、学級数が385学級、教員数が695名となっている。なお、校長名については、太字が異動者、氏名の前に(※)が表示してある校長は新任である。

12ページに、ここ10年間の学級数、児童生徒数、教員数の推移を示した。学級数では、小学校は今年度、通常学級792学級、特別支援学級115学級の計907学級で、10年前と比較して通常学級は5学級減、特別支援学級は8学級増となっている。中学校は通常学級333学級、特別支援学級52学級の計385学級で、10年前と比較して通常学級は増減なし、特別支援学級は11学級増となっている。今年度の教員数は、小学校1,238名、中学校695名の計1,933名で、10年前と比較して小学校は増減なし、中学校は21名増となっている。

河野委員

年齢構成はどのように変化していますか。

川口学校職員課長

今年度の児童生徒数、教員数の確定は5月1日なので、今年度の数字はまだ出していませんが、平成28年度までの3年間それぞれの管理職を除いた教員の年齢構成を算出しています。平成28年度は小中学校合わせて50代が30%、40代が20.3%、30代が29.8%、20代が19.8%で、50代は平成26年と比べて3.4%少なくなっています。その代わり、20代が17.7%から19.8%と少しずつ増えてきています。これは県全体で300人を超える新採教員の大量採用が続いたので、金沢市もそれに従って少しずつ20~30代が増えています。

田邊委員

文部科学省の措置で定数改善が図られたと思いますが、それによって数がどれくらい増えたか分かりますか。

川口学校職員課長

定数改善により、教員数は特に変わっていませんが、毎年度、定数の他に加配教員が配置されており、本年度、小学校では143名、中学校では66名が加配で配置されています。加配教員をできるだけ多く配置していただけるように、県教員委員会に要望しているところですが、県全体の枠が決まっており、例年とそれほど変わらない数値となっています。

○ その他(2) 平成29年度全国学力・学習状況調査及び県基礎学力調査の実施状況について

(説明の概要) 議案書13ページ。国の全国学力・学習状況調査は本年度も昨年度に引き続き、全数調査として昨日実施された。調査の目的は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることである。

調査の対象は従前どおり、小学校6年と中学校3年である。本市においては、小学校55校3,741名、中学校24校3,847名の計7,588名となっている。調査の内容は、小学校では国語と算数、中学校では国語と数学が行われた。これまで同様、それぞれA問題とB問題があり、Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用」に関する問題となっている。また、(2)のように、児童生徒、学校が答える質問紙調査も併せて行われた。5. 保護者に対する調査は、平成25年度以来2回目の実施である。無作為に抽出された公立学校において、本体調査を受けた児童生徒の保護者を対象に実施される。6. 公表については従前どおり、教育委員会が市全体の平均正答率の公表を行い、各学校はそれぞれの判断に基づき公表を行う。

14ページは、県の調査の概要である。本年度も小学校4年生、6年生、中学校3年生の全児童生徒を対象に一昨日行われた。調査の目的は、基礎的・基本的な知識・技能や活用力の定着状況および学習・生活状況について把握・分析し、教育指導の改善を図ること、教員の指導状況等を把握し、指導改善に役立てることである。調査の対象は先ほど申し上げたが、調査の集計・分析については、各学校対象学年から無作為に1学級ずつ抽出して行うこととなっている。調査の内容は、小学校4年生は国語と算数、6年生は社会と理科、中学校3年生は社会、理科、英語が行

われた。また、質問紙調査や、抽出した小中学校における教員を対象とした調査も行われた。公表は全国の調査と同様である。なお、国、県の調査における、特別な配慮を要する児童生徒の合理的配慮等の状況については、結果の概要と併せて報告したい。

早川委員	調査の目的を達成するためには、フィードバックがとても大事だと思います。調査の結果について話し合われて、これが具体的にフィードバックされて成果を見るのは先のことだと思いますが、フィードバックの頻度が分かれば教えてください。
新村学校指導課長	結果が来るのは県が7月、国が8月ですが、本市では各学校で自校採点をしており、5月時点で金沢市の平均正答率と各学校の正答率を比較できるようになっています。それでまず課題を把握し、1学期の間に1回目の改善が可能です。そして、7月、8月に実際の結果が来たときにもう一度見直して、改善策を図ることができます。さらに、12月にも同じような県の評価問題を生かした結果が来るので、それを生かして年3回のサイクルで改善を行っています。
河野委員	非常に膨大で貴重なデータが取れると思いますが、分析は各学校に任せてしまうのか、あるいは統計的な処理をしなければならないと思うのですが、別のところで分析するのか、分析の方法を教えてください。
新村学校指導課長	各学校で子どもの状況が違うので、各学校の分析が一番大事だと思いますが、国から毎年8月に全国的な状況の分析が出されますし、県からも同様に県全体の分析が出てくるので、それらを参考にしながら各学校の状況と併せて分析を進めています。
早川委員	公表については各学校で任されていて、行う学校もあれば行わない学校もあって、みんなが公表するわけではないのですか。
新村学校指導課長	公表はどの学校も行っています。ただ、公表の仕方については校長の判断で、スクールフォーラムなどいろいろな場も各学校に任されています。学校だよりで広く示している学校もあります。示し方も数値で示している学校もあれば、平均正答率よりどれくらい上か下かという示し方をしているところもあります。私が昨年までいた学校は数値で示しました。

○ その他 (3) 金沢市立小・中学校図書館の状況について

(説明の概要) 議案書 15 ページ。司書については 1 (1) のとおり、平成 23 年度から配置し、現在 39 名である。(2) のとおり、全校で複数日の配置体制となっている。(3) 主な成果として、① 1 人当たりの貸出冊数は今年度、小学校が 82.4 冊で前年度比 6.1 冊の増、中学校が 15.3 冊で 1.7 冊の増と、どちらも前年度を上回る冊数になっている。② 授業回数については、学校司書を活用した授業回数が前年度を上回っている。③ 環境整備については、作者を意識した読書ができるよう、図書ラベル更新を実施しており、平成 28 年度、全小中学校での更新が完了した。

2 蔵書冊数については、国の標準冊数に対して全小中学校で充足率 100%、小中学校全体で平均充足率 110% を目指して取り組んだが、どちらも平成 28 年度末で達成している。蔵書は充実してきていると捉えている。

3 玉川こども図書館による学校団体貸出は、各学校図書館の蔵書を補うものだが、平成 28 年度もほとんどの学校が利用している。ただ、各学校での蔵書整備が進んでいることから、利用冊数は落ち着いてきたものと考えている。

4 学校図書ボランティアについては、平成 28 年度は小学校 54 校で 1,022 人、中学校は 18 校で 146 人となっている。学校図書館の整理や飾り付け、読み聞かせ、本の修理などを行っていた

いている。今年度も引き続き、学校図書館アドバイザーによる研修等を実施し、学校司書のさらなる資質向上に努める。また、学校司書総括等の学校訪問による指導、助言を行い、学校図書館司書教諭と学校司書が連携しながら、どの学校でも子どもたちの読書活動が推進されるよう取り組んでいきたい。

河野委員

蔵書数はすごく増えている、いいことだと思いますが、内容の充実の点で、学習障害の子どもたちで、通常の活字ではなかなかスムーズに読めないけれども聞いたら分かるという子がいます。そんなときにデジタル図書のようなものがあると、その子どもたちの読書を保証することになると思います。実際、全国の公立図書館等でも取り組まれているので、マイノリティへの対応として、ぜひ学校図書でも考えていただければありがたいと思います。

新村学校指導課長

貴重なご意見ありがとうございます。学校図書館はもちろんですが、特別支援学級等にも予算があり、それぞれのお子さんの実情に合わせて、そういう図書を購入している学校も多くなっていくと思います。

早川委員

以前もお話ししたのですが、健常者と呼ばれる子どもたちに、ポップ作りでも本の整理整頓でも参加してもらい、いろいろなハンディキャップの人がいることを知るチャンスを与えてあげてください。そこに一生近づかないで終わってしまうのはとてももったいないです。自然にお手伝いしながらハンディキャップの人々を理解することは、一緒に教育を受けているメリットだと思うのです。私が小・中学生のころはそんなチャンスがありませんでした。ぜひ参加のチャンスをおあげください。

新村学校指導課長

貴重な意見ありがとうございます。ぜひ参考にしたいと思います。

田邊委員

学校図書に関しては、学校司書が中核になって、図書教諭と合わせて取り組んでいることが効果にもつながっていると推測しますが、学校図書ボランティアなど、さらに支援していただける仕組みもあります。登録者数はとても多いので、すごく活力になると思いますが、一番最後に書いてある実務研修会は、学校図書ボランティアの方も対象にした研修なのでしょうか。

新村学校指導課長

そのとおりです。ボランティアの方を対象に毎年実施しているプロジェクトです。

田邊委員

1,000名を超えるボランティア登録者が研修に臨まれるのですか。

新村学校指導課長

1,000名までは来られません。そのときに都合のつく方で、希望のある方を対象に行っています。

田邊委員

そういう支援の輪が広がるのは、とても心強いので、いろいろな意味で、こういう機会が充実するものであればいいと思います。

以 上

会議録署名

教育長 署名

教育委員 署名

(早川委員)

[非公開議案の審議結果について]

○ 議案第 9 号 教育委員会所管の委員会等の委員の委嘱等について（教育総務課他）

（１）金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の委嘱等について

金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会設置条例第 3 条の規定により、次のとおり金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会委員を委嘱及び解嘱します。

委員の委嘱及び解嘱

区 分		所属団体・機関及び役職	氏 名
委嘱	学校長代表	金沢市立木曳野小学校校長	武田 秀一
解嘱		金沢市立千坂小学校校長	坂根 順子

任期：平成 2 9 年 4 月 1 9 日から平成 2 9 年 7 月 2 1 日まで（前任者の残任期間）

理由：学校長の離任に伴う委員の交代

（２）学校運営協議会委員の委嘱及び任命について

金沢市学校運営協議会規則第 8 条の規定に基づき、金沢市立中村町小学校学校運営協議会委員を次のとおり委嘱及び任命します。

委嘱及び任命する委員

区 分	氏 名	所属団体・機関及び役職等
地域住民	大川 兼紀	中村町校下町会連合会会長
地域住民	出口 浩	中村地区社会福祉協議会会長
地域住民	中川 護	金沢中街頭交通推進隊中村支隊長 学校安全なかむら見守り隊
地域住民	石野 洋	中村町公民館 館長
地域住民	森田 輝雄	地域学校協働本部地域コーディネーター
地域住民	上野 讓	中村町わかばとスポーツ少年団団長
地域住民	外松 秀俊	中村町校区子ども会連合会育成委員長
地域住民	谷内 きみ枝	地域学校協働本部地域コーディネーター
学識経験者	力丸 修	中村町小学校 学校医（力丸医院 医院長）
学識経験者	上林 雅彦	元清泉中学校長
学識経験者	石野 あや子	元森本小学校長
学識経験者	寺本 弓子	泉中学校長
保護者	松本 洋史	中村町小学校育友会会長
保護者	山本 一美	中村町小学校育友会副会長

校長	今村 外志美	中村町小学校長
----	--------	---------

任期：平成29年5月1日から平成30年4月30日まで

(3) 金沢市社会教育委員の委嘱等について

社会教育法第15条第2項及び金沢市社会教育委員設置条例第2条の規定により金沢市社会教育委員を委嘱及び解嘱します。

委員の委嘱及び解嘱

区 分		所属機関・団体名	役職	氏 名
委嘱	学校教育	金沢市立中学校長会	会長	澤村 隆司
解嘱				濱野 大助
委嘱	社会教育	金沢市青年団協議会	会長	河崎 智広
解嘱				竹口 雄治

任期：平成29年4月19日から平成29年11月30日まで（前任者の残任期間）
理由：所属団体の役員改選に伴う委員の交代

(4) 金沢市図書館協議会委員の委嘱等について

金沢市図書館条例第10条第2項の規定により、下記のとおり金沢市図書館協議会委員を委嘱及び解嘱します。

委嘱及び解嘱する委員

区 分		団体・機関及び役職	氏 名
委 嘱	学校教育	金沢市学校図書館協議会会長	平野 友昭
解 嘱			架谷 一美

任期：平成29年4月19日から平成30年1月31日まで（前任者の残任期間）
理由：所属団体の役員改選に伴う委員の交代

○ 議案第10号 平成29年度金沢市教員採用候補者選考試験の実施について（学校職員課）

審議結果についても非公開

○ 議案第11号 金沢市文化財保護審議会への諮問について（文化財保護課）

審議結果についても非公開

○ 議案第 12 号 金沢市スポーツ推進審議会委員の委嘱について（スポーツ振興課）

金沢市スポーツ推進審議会条例第 4 条の規定により、下記のとおり金沢市スポーツ推進審議会委員を委嘱します。

1 委員の委嘱

区 分	氏 名	所属団体等
知識経験を 有する者	佐川 哲也	金沢大学人間社会学域地域創造学類 教授
	金浦 修郎	金沢市体育協会 理事長
	安宅 真由美	石川県女性スポーツ協会 金沢支部長
	奥田 睦子	石川県障害者スポーツ指導者協議会 理事
	高島 栄治	金沢市中学校体育連盟 会長
	鶴岡 恒久	石川県小学校体育研究会 会長
	佐々木 雅美	金沢市スポーツ推進委員協議会 副会長
関係地域を 代表する者	福岡 俊明	金沢市公民館体育部長連絡協議会 会長
	竹井 早葉子	公募委員
	田中 留奈	公募委員

2 任 期

平成 29 年 5 月 1 日から平成 31 年 4 月 30 日まで

3 理 由

任期満了による委嘱

以 上